



●今月号の元気な話題●

- * 新成人の活躍を花束に込めて
【農業振興部（巨理農業改良普及センター）】・・・1
- * 林業専用道の整備が進んでいます。【林業振興部】・・・2
- * 第69回奉献乾（ほし）海苔品評会が開催されました
【水産漁港部】・・・2
- * みやぎ地域づくり団体協議会仙台支部研修交流会を開催
しました【地方振興部】・・・3
- * 農業・農村の復旧へ確かな足がかり
～「巨理・山元農地海岸地区」海岸堤防の引渡式開催～
【農業農村整備部】・・・4

みやぎ水産の日 ●今月のおすすめ●



【カキ】

おすすめ時期：10月～3月



【ノリ】

おすすめ時期：11月～3月



【アカガイ】

おすすめ時期：1月～3月

新成人の活躍を花束に込めて

【農業振興部（巨理農業改良普及センター）】

平成29年1月7日(土)、東日本大震災からの復興を遂げた名取市花卉生産組合で成人式の記念に贈られるカーネーションとバラの花束作りが行われました。名取市では、新成人への記念品として贈る花束を毎年、当組合に依頼しており、今年は650束を作ることになりました。

普及センターでは、毎年「花き6次産業化講習会」を開催し、消費者の視点に立った商品の作り方の研修を行ってきました。今回、花束作りを行った組合員の大半が、講習会を受講していることから、手際よく作業が進められ、色合わせやラッピングなど新成人向けに華やかなブーケスタイルの花束を作製することができました。

名取市花卉生産組合では、イベント等でフラワーアレンジメントに加工して販売するなど6次産業化の取り組みや花の消費拡大に力を入れており、今後の展開が期待されます。



新成人に贈るバラの花束

林業専用道の整備が進んでいます。

【林業振興部】



完成して利用可能となった林業専用道の区間

「林業専用道」なじみの少ない言葉ですよね。従来の林道と

作業道の間間的な位置づけとなる林業を行うための道路です。林業専用道は林業用車両の通行、特に伐採した木材の搬出時に10tトラックが走行可能な規格の道路で次のような特徴があります。

- ①木材を市場に低コストで輸送するための新しい林道
- ②極力現在の地形に合わせた線形と、側溝や法面緑化を施工しない低コストで開設できる道路

現在、黒川郡大和町内の森林で「林業専用道上嘉太神（かみかだいじん）線」の開設工事を進めています。

「上嘉太神線」は大和町吉田字欠入西（かけいりにし）地区の県道「升沢吉岡線」を起点とし、同上嘉太神地区の県有林を終点とする、幅員3.5m、総延長3.95kmの道路で、沿線には約320haの森林があり、そのうち約78%がスギなどの人工林となっています。

そのため、森林の整備のみならず、県産材供給のための木材生産にとっても重要な幹線道路となることから、供用開始に向け地元の町や森林所有者等の期待が高まっています。

これまでに1.44kmが完成し、平成28年度の工事では総延長の約47%にあたる1.84kmが完成予定です。県では沿線周辺の森林所有者の皆様が早期に利用できるように、全線完成を目指して今後も工事を進めてまいります。

第69回奉献乾（ほし）海苔品評会が開催されました

【水産漁港部】

毎年恒例の鹽竈（しおがま）神社の奉納乾海苔品評会の審査会が1月5日に開催されました。この品評会は、宮城県産海苔の品質向上と生産者の意欲向上を目的に昭和23年に第1回を開催して以来、今回で69回目となりました。

今シーズンの海苔は、育苗期間中に天候が不順であったために種網の確保に苦戦した生産者が多かったものの、各地区で漁場環境を見極めながらの養殖管理が功を奏し、色、つやなどがよい高品質な海苔が多く生産されました。審査会には、県内の生産者から105点の出品があり、厳正な審査の結果、優賞に宮城県漁協鳴瀬支所の手代木浩二さん（4年ぶり2回目）、準優賞に同七ヶ浜支所の星博さん（初受賞）が選ばれました。

受賞者には、1月11日に、鹽竈神社御神前において開催された表彰式で、賞状が授与されました。優賞、準優賞の海苔は、2月8日に受賞者自ら皇居に赴き、皇室へ献上されました。



←審査の様子

優勝者知事表彰→



みやぎ地域づくり団体協議会仙台支部研修交流会を開催しました

【地方振興部】

2月4日、利府町公民館を会場に平成28年度みやぎ地域づくり団体協議会仙台支部交流会を開催しました。

この研修交流会は、地域づくりに関連する団体等の交流を目的に平成12年から開催し、今年で16回目（平成23年度は震災により中止）となります。

今年は、「人をつなぎ・思いをつなぎ・笑顔育てる～十符の里のまちづくり～」をテーマに、利府町内で活動する団体及び当会の会員など91名に参加していただきました。



利府太鼓

利府町に本拠地を置き活動する「利府太鼓」の皆さんによる演奏で研修交流会の幕を開けました。

基調講演では、認定NPO法人杜の伝言板ゆるゆるの大久保代表理事を講師に迎え、「人と思いをつなぐ協働のまちづくり」について御講演をいただきました。

「思いを伝え仲間づくりを行うこと」「勇気を出して自らが行動を起こす一歩が大切である」ことなどについてお話をいただきました。

また、「利府太鼓」「Rif u-Co-Labo（リフコロボ）」「利府町葉山町内会」からの活動事例発表を受けて、3グループに分かれ討議を行いました。

グループ毎の報告では、それぞれに違った難しい課題はあるものの、人と思いをつなぎ行動することで、課題も一つずつ解消につながると感じることができました。

参加した方々の今後活かされる交流会となりました。



基調講演（大久保代表理事）



グループディスカッション

農業・農村の復旧へ確かな足がかり ～「亶理・山元農地海岸地区」海岸堤防の引渡式開催～

【農業農村整備部】

1月11日に宮城県庁において、特定災害復旧事業「亶理・山元農地海岸地区」で復旧した農地海岸堤防の引渡式が開催され、東北農政局より県に施設の引渡しが行われました。

亶理町及び山元町の農地海岸堤防（鳥の海地区海岸、吉田砂浜地区海岸、須賀地区海岸）は東日本大震災の津波により全流出及び全・半壊し、水門・樋門施設についても地盤沈下等により機能を失うなど壊滅的な被害を受けました。

このような状況の中、平成23年5月に知事が農林水産大臣に復旧要請を行い、平成23年6月から緊急応急工事が着手され、今年1月に全施設について完成しました。

復旧した農地海岸堤防は、鳥の海地区海岸・吉田砂浜地区海岸・須賀地区海岸を合わせて長さが約9.5キロメートルに及び、水門・樋門施設についても合計6箇所の復旧が行われました。農地海岸堤防は発生頻度の高い津波と高潮に必要な高さを想定し、津波に対して粘り強い強さを発揮する構造で復旧されています。

本農地海岸堤防の完成を足がかりとして、当部は更に農業農村の復旧・復興を加速度的に進めて参ります。



海岸堤防引渡式の様子



亶理・山元土地改良建設事業建設所より提供

復旧した農地海岸堤防（須賀地区海岸）

読者の皆さまからのたくさんの**明るい情報**をお待ちしております！

問合せ先：宮城県仙台地方振興事務所地方振興部（白石）

TEL：022-275-9114 FAX：022-275-0296 E-Mail：sdsinbk@pref.miyagi.jp

HP：<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sdsgsin-e/>

※次号は平成29年4月下旬発行予定です。